

2008年4月22日

投資脳のつくり方

～中計「原油200ドル」にらむ～

経済アナリスト 木下晃伸（きのした・てるのぶ）

■当資料は、経済アナリストの木下晃伸が、投資環境についての情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■当資料に基づいてとられた投資行動の結果については、株式会社きのしたてるのぶ事務所（以下当社）ならびに木下晃伸は一切責任を負いません。■当資料の内容は当資料作成時のものであり、将来予告なく変更される事があります。■当資料は、当社が信頼性の高いと判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料におけるデータ・分析等は過去の一定期間の実績に基づくものであり、将来の投資成果及び市場環境の変動等を保証もしくは予想するものではありません。

本日お話をさせていただくこと（目次）

● 「投資脳のつくり方」

- 中計「原油200ドル」にらむ
- 南アフリカのマンガン鉱山、ポスコ投資へ
- 採用前線、前倒し一段と強まる

● 「個別銘柄情報はこちらから」

「なぜ、この会社の株を買いたいのか？」（プレミアムメールマガジン）ご紹介

●お申し込みはこちらから（1ヶ月間は無料視聴、いつでも停止できます）

（まぐまぐ） <http://premium.mag2.com/mmf/P0/00/50/P0005007.html>

（フィスコ） <http://fisco.jp/report/mail/terunobu-kinoshita.html>

中計「原油200ドル」にらむ

(出所) 2008年4月22日付日本経済新聞朝刊21面

- 未曾有の原料・燃料高が素材・エネルギー業界を直撃している
- クラレは原油価格が1バレル200ドルを前提に中計を策定
- 200ドル時代到来は、3年後の前提

堅実な経営で知られるクラレが、「原油200ドル時代」を見越した中期計画を策定する。クラレは規模は東レ、帝人に比べれば小さいものの、収益性の高い商品群をそろえ、輝きを出している企業だ。

しかし、クラレにとって原油高はモロにマイナス影響となる。原油高は過去4年間で累積330億円の減益要因となった。さらに100ドル上昇すれば、仮に今と調達量が同じだと今後約350億円の減益要因となる。

中国やインドなど新興国の成長が続く状況では、今後も資源価格が低くなることはない、という前提のもと、厳しい戦いに挑む姿勢は投資家として好感を覚える。

では、クラレの株価はどうか。業績は好調に推移しているものの、過去5年間の株価チャートからは日経平均株価と同程度のパフォーマンスしか得られていない。

<http://quote.yahoo.co.jp/q?s=3405.t&d=c&k=c3&c=998407.o&t=5y&l=on&z=m&q=l&p=m130,m260,s>

素材産業への投資は、原油高という向かい風の中では投資しづらい。良い会社でも投資タイミングが重要だという典型的な事例だ。

南アフリカのマンガン鉱山、ポスコ投資へ

(出所) 2008年4月22日付日経産業新聞4面

- 韓国鉄鋼最大手ポスコは南アフリカのマンガン鉱山に2億ドルを投じる
- 鉄鋼生産の拡大で急騰するマンガンの安定調達を狙う
- 国際的コンソーシアムに加わり資源開発するのは初めて

韓国鉄鋼最大手ポスコは、国際的な資源開発コンソーシアムを通じ、南アフリカ共和国のマンガン鉱山に2億ドルを投じる。鉄鋼生産の拡大で急騰するマンガンの安定調達先の確保をめざす。

先日、イ・ミョンバク韓国新大統領の訪日に合わせ、東京帝国ホテルにて「2008韓国投資環境セミナー」が開催された。韓国の経済状況にとどまらず、サムスン、ヒュンダイ、SK、LGなど韓国を代表する企業群の中にポスコも登場した。

ポスコの純利益は約4,000億円規模。日本最大の新日鉄と並ぶ規模だ。さらに、**新日鉄は今期減益になるとの業績観測記事が出ているが、ポスコは増益を予想している。**セミナーに登場したパク・ギホン常務は、力強い発言をしていた。

しかし、株価はどうか。<http://finance.yahoo.com/q/bc?s=PKX&t=1y> 過去1年のチャートを見ると、ほぼ半値にまで株価が下落している。ただ、**同社が稼ぎだす収益と現在の株価水準は、ほぼ均衡するレベルにまで落ち着いていると考えられる。つまり、昨年前半の株高は、バブル的要素が強かったということになる。**

サムスンの会長在宅起訴という問題に揺れる韓国だが、投資対象として魅力が高まってきているように思う。さらなる調査を続けたい。

採用前線、前倒し一段と強まる

(出所) 2008年4月22日付日本経済新聞朝刊13面

- 主要企業による新卒採用活動の「前倒し」が一段と進んでいる
- ローソンは、09年春に採用する新卒の1/3を外国人に
- いよいよ日本も外国人との共生が必要になる

主要企業による新卒採用活動の「前倒し」が一段と進んでいる。日本経済新聞社の「採用活動に関する緊急アンケート」によると、09年春入社の新卒採用活動で、4月中旬までに事実上の内定である内々定を出した企業は74%にのぼるとのこと。

なかでもローソンは09年春に採用する新卒者のうち3分の1に当たる30人～50人を外国人とする方針を決めた。今春に比べて3倍以上に増やす。

すでにローソンは今年4月入社の新卒者から外国人正社員の採用を本格化。中国人9人、ベトナム人1人の計10人を採用している。新卒者に占める外国人の割合は約8%だったが、来春はこの比率が27～38%になる。

私も経営者の大先輩からつい先日「外国人を雇いなさい」と言われたばかりだ。早くから外国人とのつきあい方を知り、マネジメントする方法を知るには、外国人を雇って一緒に仕事をすることがてっとり早い。

独立後、海外との関わりが劇的に増えている。海外との関わりの中で、自分が日本人であることはもちろん、日本という国のアイデンティティにも考えが及ぶようになる。いよいよ日本にも外国人との共生が本格的に始まる。日本だけが世界から独立して生きていけるわけがない。

個別銘柄情報はこちらから

「なぜ、この会社の株を買いたいのか？」（プレミアムメールマガジン）

- ファンドマネジャー、アナリストの**実際の議論現場**を克明にお伝えします
- 1,000社以上の取材に裏打ちされた、**理論的な株式投資ノウハウ**を全開示
- **ネットセミナー**ならではの臨場感をお楽しみください

個別銘柄投資を通じ、**年率20%以上のリターンを確実に求めていくためには、理論に裏打ちされた確かな投資ノウハウを知っておく必要があります。**

実務経験があるからこそ気づいた投資ノウハウ、また、個別銘柄を徹底的に分析する際に、何を見て、何に気づけばいいのか、ネットセミナーを通じて克明にお伝えしていきます。

●お申し込みはこちらから（1ヶ月間は無料視聴、いつでも停止できます）

（まぐまぐ）<http://premium.mag2.com/mmf/P0/00/50/P0005007.html>

（フィスコ）<http://fisco.jp/report/mail/terunobu-kinoshita.html>

重要事項（ディスクレーム）

- 掲載される情報は株式会社きのしたてるのぶ事務所（以下当社）ならびに経済アナリスト木下晃伸が信頼できると判断した情報源をもとに作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、当社ならびに木下晃伸は保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。
- 本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。
- 本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権は当社ならびに木下晃伸に帰属し、事前に書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。
- 本資料により提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。
- 本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。
- 本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大することを保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、当社ならびに木下晃伸は、理由のいかんを問わず、責任を負いません。
- 当社とその取締役、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。
- 投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。